

検査技術部 細菌検査室の立場から

稲村真由美

大阪府済生会中津病院 検査技術部 細菌検査室長

2020年1月、中国の武漢市で新型コロナウイルス感染症が発生し、日本はこの新型コロナウイルス感染症を指定感染症と定めた。中津病院では同年2月より帰国者・接触者外来診療が始まり、3月からは入院患者の受け入れが始まった。患者の診断及び治療の適正化に資することを目的として新型コロナウイルスの院内検査体制を以下のように整えた。

2020年5月 「新型コロナウイルス抗原定性検査」院内検査として導入。24時間体制・25名で検査開始。2022年3月までに総検査数2834件、陽性は159件であった。

2020年8月 「新型コロナウイルス遺伝子検査：RT-PCR法」新型コロナウイルス専門病床の発足日より、日勤帯・2名で検査開始。感染拡大をうけ同年11月より検査が2日間滞らない体制とし、また検査実施者の増員に努め現在8名で検査を行っている。2022年3月までに総検査数14324件、陽性は1826件であった。

2020年12月 「新型コロナウイルス遺伝子検査：TRC法」遺伝子検査の迅速化を目的とし、24時間体制・25名で検査開始。2022年3月までに総検査数3358件、陽性は60件で

あった。

2021年4月 「新型コロナウイルス遺伝子検査：RT-PCR法（変異株検査）」新型コロナウイルスの変異株が検出されたことをうけ、検査開始。アルファ株については総検査数125件、陽性は103件であった。デルタ株については総検査数146件、陽性は92件であった。オミクロン株については総検査数49件、陽性は48件であった。

2021年5月 「新型コロナウイルス遺伝子検査：RT-PCR法（唾液を用いた入院時スクリーニング検査）」新型コロナウイルスの院内持ち込みを除外するため2021年3月より外注検査で行っていた入院時スクリーニング検査を院内化。日勤帯・11名で検査開始。2022年3月までに総検査数6890件、陽性は16件であった。

また、遺伝子検査機器を始め、安全キャビネット、薬用冷蔵庫を新規購入して遺伝子検査室の充実を図った。

複数の検査を駆使することにより、迅速な診断と適切な治療及び感染対策に繋げることができている。さらに、医療センター内でのクラスター発生時に、より迅速に対応することが可能となった。

新型コロナウイルス検査件数

2020.5～2022.3

年月		20.5	20.6	20.7	20.8	20.9	20.10	20.11	20.12	21.1	21.2	21.3	21.4	21.5	21.6	21.7	21.8	21.9	21.10	21.11	21.12	22.1	22.2	22.3
抗原検査	検査数	3	9	41	114	60	101	135	167	150	112	172	185	162	153	163	199	128	116	123	137	145	104	155
	陽性数	0	1	7	7	2	4	12	18	7	9	2	15	10	1	7	12	3	0	0	0	13	23	6
PCR検査	検査数				115	233	163	381	584	594	580	479	755	646	477	506	891	686	540	469	440	2141	2284	1360
	陽性数				8	8	8	5	80	85	118	61	99	107	32	49	117	51	9	5	2	240	475	267
TRC検査	検査数								33	72	58	230	275	302	179	229	299	215	244	276	242	281	178	245
	陽性数								9	2	1	0	6	7	1	2	5	2	0	0	0	7	8	10
唾液検査	検査数													176	579	629	639	680	734	765	699	765	605	619
	陽性数													0	0	1	0	0	0	0	0	6	5	4

※PCR検査数、PCR陽性者数には復職前PCR検査を含む。

受付け：令和4年6月23日